

# 文楽、たのしみ

65 2020.3

題字 加登瓦川



ピアノ 大富栄里子さん



左から歌 並木円さん、箏 菊井松音さん、箏 菊葉真うさぎさん、尺八 吉田峯山さん



ソプラノ 森川華世さん（中央）、演出 藪川直子さん



ソプラノ 並木円さん

## 舞台・芸術事業 「第十回早春の風にのせて」

今年度の舞台・芸術事業は、

「第十回早春の風にのせて」と題し、洋楽部門の寺松光子さんのプロデュースで、二月八日（土）に伊丹アイフォニックホールでのメインホールで開催しました。

第一部の邦楽は、箏の菊井松音さん、箏の菊葉真うさぎさん、尺八の吉田峯山さんが出演し、洋楽部門の並木円さんも歌で共演しました。また洋楽はピアノの大富栄里子さん、ソプラノの並木円さんが出演しました。

第二部では藪川直子さんによる演出で、ソプラノの森川華世さんと賛助出演者によるオペラを上演しました。

フィナーレでは出演者と来場者全員で「ふるさと」を合唱し、伊丹市芸術家協会ならではの多様な内容で、四百三十一人の心に響く素晴らしい演奏会となりました。



フィナーレ「ふるさと」

## 伊丹市 芸術家協会 新人賞決定

新人賞

小山 亜希さん(洋楽)

新会員

藤本 勝さん(絵画)

堀之内 千恵子さん(工芸)

畑間 青露さん(書)

令和元年度伊丹市芸術家協会新人賞・新会員が決定しました。新人賞に選ばれた小山亜希さんはバイオリン奏者として、大阪音楽大学音楽学部器楽学科弦楽器専攻在学中にザ・カレツジオペラハウス管弦楽団と共演し、伊丹市新人演奏会ヌーベルエトワールにも出演されました。その後、ドイツ・バインハイムのマルクス教会での演奏の評価が地

方新聞に掲載され、ニュルンベルク音楽大学大学院試験にも合格されました。現在は滋慶学園グループJカレツジと大阪音楽大学付属音楽院で講師として活躍されています。

小山さんとともに藤本勝さん、堀之内千恵子さん、畑間青露さんを新会員としてお迎えしました。

藤本さんは、昭和五十二年に絵画で伊丹市展市長賞を受賞され、その後入会した伊丹勤美協会の勤美展でも市長賞を二度受賞されています。伊丹美術協会、伊丹勤美協会、一般社団法人日本美術家連盟の会員として活動しつつ個展も開催されるなど、活躍されています。

ギー・ハッセルト市日本週間展に出品・寄贈され、昭和六十三年には伊丹市展市長賞も受賞されました。その後も様々な展覧会で受賞・入選され、現在は日展会友、現代工芸美術協会本会員、京都工芸芸術作家協会会員として活躍されています。

畑間さんは、平成二十六年に伊丹市展市長賞を受賞され、その後平成二十九年には神戸で「青露・千影二人展」を開催されました。現在はイオン昆陽J E U G I A カルチャー篆刻・書道教室、アイ愛センター、荒牧デイサービス、あそかももはデイサービスの書道教室で講師をされています。伊丹をはじめ宝塚や豊中で、篆刻を中心に幅広く活躍されています。

なお、三月七日に伊丹シティホテルで予定していた「新人賞表彰式・懇親会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

## 伊丹市 芸術家協会展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三月七日から三月二十二日まで伊丹市立美術館で予定していた「伊丹市芸術家協会展」は中止となりました。延期の予定はございません。

### 入会にあたって

小山 亜希

この度は伊丹市芸術家協会に入会させていただき、また新人賞までいただき誠にありがとうございます。新人賞に

賛同していただいた伊丹市芸術家協会の皆様に心から感謝しております。

難しく感じています。

この七年間は、人の温かさに気づくことのできた大切な時期だったと振り返り感謝しました。仮にもこの七年が

私事となりますが、七年前に幼い頃からの夢であった海外留学のため突然日本を飛び出し、半年間頑張つて大学院の合格通知を手にしました。

静かな冬とするならば、私はこのぬくもりのある季節が大好きです。しかし、世の中には誰からも必要とされていないと悲しんでいる方や、深い

しかし、無理が祟つたのか体調を崩し、入学を目の前にして帰国致しました。それから

悲しみの中に居られる方がたくさんいます。いつの日か、

暖かい風が通り過ぎていくように月日が流れたのですが、

作曲者の求めていることを介して、聴き手の心に一時でも

自身の練習は続けており、いつからか目的も無く練習することが楽しく感じられるよう

火を灯すことができるのなら

になりました。

ばと、音楽の学びを忘れないという自戒の念を込めて書きました。

特筆できるような経歴を持たない私が、今回このような

まだ未熟者ではありますが、

賞をいただけたことは、時に喜び、時に忍びながら練習を

どうか温かい目でご指導いただければ有り難く思います。

続けた結果として、とても有り

人間のにも音楽的にもまだ

このたび、伊丹市芸術家協会に入会させていただくことになりました。私は昨年、喜寿を迎えました。太平洋戦争真只中の昭和十八年にこの世に生を受け、淡路島の大自然の中で何不自由なく育ち、学校教員であった父が絵を描いていた影響で、幼少の頃から絵を描くのが大好きでした。

中学の三年間は、当時の美術教師の指導を受けグラフィックデザインに熱中し、高等学校に入って水彩画と油絵を始めました。美術の先生の教えは、絵は見る人たちに感動を与える要素が必要だということでした。私なりに熟考し、感動的な風景や田舎で

### 私の絵画人生

藤本 勝

働く年老いた人達に生命力や生活感を感じ、今後のモチーフにしようかと心に決めました。海に囲まれ、田畑の多い淡路島は、至る所に題材が点在していました。

昭和三十七年に高校を卒業後、大阪へ出て某百貨店の美術部絵画担当に就職し、主に作家対応や画廊企画、販売等の業務に従事して参りました。ただ仕事中心で充分絵を描くことができず、関西国展や伊丹市展に数度出品するだけでした。

会社を定年退職後、絵画仲間十数名とグループ「ヴィラージュの会」を結成し、解散するまでの九年間、大阪リーガロイヤルギャラリーで展覧会を開き、出品を続けました。その間、故郷淡路島で

二回、個展を開催しました。

現在、日本美術家連盟、伊丹美術協会、伊丹美術協会で活動を続けております。

芸術家協会への入会は長年の夢でしたので無上の喜びであり、私自身としては絵筆に全てを託すただの素人絵描きの姿勢は貫いて参りたく、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

### 工芸美術の中の人形 堀之内 千恵子

この度、伊丹市芸術家協会に入会させていただき、誠に光栄に存じます。

かつて私は、三十年余り伊丹の住人でした。伊丹とのご縁は深いものがあり、友達との親交も続いております。人

形創作活動は公募展への出品が伊丹市展から始まり、兵庫県工芸美術展、全関西美術展、大阪工芸美術展、京展、日本現代工芸美術展、日展と続き、二〇一三年には日展会友となり現在に至っております。まさしく伊丹は活動の原点であります。

ところで、日展第四科工芸美術は陶磁、金属、染、織、漆、人形、革、木工、紙、七宝、ガラスのジャンルがあり、それに準じて多様な素材と技法等があります。その中でも人形部門は特に技法の工程が複雑です。だからまず、職人でなければなりません。それに感性、情緒、哲学をも加える！

まさに総合芸術といえるでしょうか。そしてその人形はご覧いた

だく人々の心に響き、歓びや活力、感動、そしてときめきを共有できる作品であることを要求される厳しさがあります。果たして私はその要求に少しでも：と思いつながら未だに未熟です。

今ここ伊丹の古巣に帰った雛鳥！伊丹市芸術家協会の会員として、発表の場を与えていただける幸せに、心から謝致しております。これから何卒よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

### 入会にあたって 畑間 青露

この度、伊丹市芸術家協会に入会させていただきました畑間青露と申します。このよ

うな栄えある会に入れていた  
だき、心より感謝申し上げます。

私は、名古屋で生まれ育ち、  
小学一年生から書を始めまし  
た。十九歳で関西に転居して  
からも細くなんとか続けてき  
ましたが、四十歳の時に、主  
人の実家がある伊丹に住み始  
め、現在の師であります井谷  
五雲先生に出会い、篆刻を習  
い始めました。

書をしていったそれまでは、  
毎月先生のお手本を見て書い  
ていただけでしたが、篆刻を  
習い始めると様々な勉強をし  
なくてはなりませんでした。  
印文を決めるのに漢詩や漢文  
の本を読んだり、インター  
ネットで探したりしますが、  
文字の成り立ちを辞書で調べ  
て新しい発見があると楽しく

なつてわくわくします。題材  
を求めて知らない土地へ足を  
運んだりもします。もちろん、  
毛筆も並行して勉強します

が、楷書、行書、草書以外に  
も隷書、篆書とあらゆる字体  
を書くようになりました。最  
近は作品に自分らしさが表現  
できるようになったとしまじ  
み感じています。

このように篆刻を始めてか  
ら書に対する考え方ががらり  
と変ったことは私にとって大  
きな出来事でした。伊丹に来  
て篆刻に出会えたことが私の  
人生の折り返し地点のように  
感じています。これからは芸  
術家協会の一員として誇りを  
もち、伊丹の地で芸術文化の  
伝承に努めて参りたいと思ひ  
ます。どうぞよろしくお願ひ  
申し上げます。



昨年末、父は「早苗という  
名前は、とても美しい女優さ  
んがいて、そんな人になつて  
欲しい」と思い私がつけた。本  
当は丙午の年に生まれて欲し  
くなかつた。」と私に話しま  
した。私は自分の名前の由来  
や父の本音を初めて知りまし  
たが、たいして驚きませんで  
した。

私の生まれた一九六六年  
は、「六十年に一度しかない  
丙午の年に、親が子供を生む  
のを嫌がったため、この学年  
は子供の人数が少ない」など  
と言われてきました。小中学  
校の授業時間外に教師達から

多くのことを熱弁され、その  
長い話を毎年嫌というほど聞  
かされました。丙午の同級生  
はその話について何の言葉も  
交わさず、先生のことを悪く  
も言わず…という優等生で  
した。幼い頃から周囲の大  
人に「生まれてはいけなかつ  
た」というような人間否定的  
なことを言われすぎて、いつ  
しか「私は丙午生まれだけど、  
優しく弱いか弱い女性なんです  
よ」と自分で言うようになり  
ました。

私は幼い頃から絵が得意  
で、カラーで見た夢が現実に  
なつたり、不思議なものを見



私を踊るオデット



米子市自宅庭

たり感じたり、現象を起こしたり予言したりする、少し変わったところがあります。米子市の母の実家の日本庭園を見ながら、いつかここでバレエレッスンができたらいなと子供の頃思っていたことが、大人になり晩年を迎えた今、現実になりました。「こんなバレエ教室ステキ！幸せ！」と考えながら私がリフォームし、バレエスタジオ

を離れと母家に二つ作りました。また、亡き母と母の父、そして母の先祖に日々感謝して暮らし、バレエスタジオで自主レッスンをしています。伊丹で使用していたバレエスタジオは六階建てビルの最上階で、床から天井まで五、六メートルあるドーム式の打ちっぱなしの外壁で、スケルトンのエレベーターもありました。晴れた日は、北に甲山・六甲山脈、南に尾崎から大阪方面が見渡せ、まるで「天空の城ラピュタ」のような夢の世界で毎日踊っている気分になれる素敵なスタジオでした。

素敵ね。世界中の人に喜ばれるわ。」と言いました。数年前、境港市のシンフォニーガーデンで、アプハジア人のダンサーの先生と一緒にバレエやロシアダンス、ロシア語を教えていた時、生徒達と伊丹までキエフバレエ団の公演を観に行き、公開バレエレッスンにも参加させていただけました。

しまっていたため、本当にご迷惑をおかけし申し訳なく思っています。今は元氣になり、米子市の自宅前に看板を立ててもうすぐ正式にバレエ生徒を募集します。是非、和のバレエ教室にいらしてくださいませ！

### 伊丹市立中央公民館 高石良子

昨年九月に、『第四十回伊丹現代美術会展』を伊丹市立中央公民館で開催しました。四十回目かつスワンホールへの移転前最後の中央公民館での展覧会ということ、



バレエ教室看板

伊丹現代美術会の記念誌を制作し、会場に見に来ていただいた方々に配布して喜んでいただきました。

伊丹現代美術会（通称BUTの会）は平成元年に創立した会で、令和になった今でも活動しています。第一回の展覧会はもちろん中央公民館で開催し、それから何回も使わせていただきました。その他には、JR伊丹駅構内にあった美術ギャラリー伊丹や東りいたみホール（伊丹市立文化



40回展会場風景



BUT40回展記念誌

会館）、宝塚市、西宮市、神戸市の公共ギャラリーや、大阪府、滋賀県など様々な場所で展覧会を開催し、回を重ねてきました。そして、第四十

回展を中央公民館で開催することができ、時間の重みと共により良い会場だったと改めて感じることができました。外からの階段を上がると、広く明るいロビーがあり、すぐ右手にゆったりとしたギャラリーへ気兼ねなく入ることができます。中央公民館で

の活動を終えられた方がのぞいて帰ってくれますし、何と言っても料金が安く助かりま

した。

四月からはスワンホールに機能移転するということです。会としてもまた新しい会場で展覧会をさせていただきたいと思っておりますが、現在の場所が無くなるという寂しさは消えません。中央公民館のおかげで、色々な講座も受けることができました。楽しいグループの一員として毎週通ったり、伊丹市展をはじめ様々な催しで刺激をもらった

り、私の人生に彩りを与えてくれた場所であったと改めて感謝しています。市民の憩いの場所であったし、伊丹市の知識・交流・人との出会いの核となってくれた場所でした。四十七年間本当にお世話になりました、ありがとうございました。

その他の作品も野菜などをモチーフに自然の造形の面白さを色彩にこだわり制作しました。前回の個展から三年が経ち、作品の内容も前より面白くなってきたのではないかと

## 芸術文化活動支援事業 実施報告

### 個展によせて

長澤 恵子

二〇一九年十二月十日から十二月十五日に、伊丹市立図書館ことば蔵ギャラリーで三回目の個展を開催いたしました。

型染二十点、ろう染一点を展示しました。浴衣は小魚、菫、秋明菊、ひな菊の四点をデザイン化し、それぞれ型染で制作しました。小魚がくねくねと川で泳いでいる姿や、その他の作品も野菜などをモチーフに自然の造形の面白さを色彩にこだわり制作しました。前回の個展から三年が経ち、作品の内容も前より面白くなってきたのではないかと

思います。今回の個展の来場者の多くは、染色作品を目にする機会が少ないので、作品の制作過程などについてたくさん質問がありました。また、次の個展を楽しみにしていると言っていたとき、私自身も作品の幅を広げたいかと考えています。

今後は、以前から続けている公募展の応募を継続していくことと、これまでの綿や麻の素材から絹の着尺の制作を増やしていきたいと思っています。

今回、芸術文化活動事業支援金をいただき感謝しております。この場を借りて御礼を申し上げます。



ことば蔵ギャラリー



陽のかたちIV

Breath×Beat  
 子供のための楽器  
 体験ワークショップ  
 井上 歓喜  
 江戸 聖一郎  
 祝丸

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三月十五日に伊丹アイフォニックホールで予定していた「Breath×Beat 子供のための楽器体験ワークショップ」は中止となりました。

☆☆ 会員活動通信 ☆☆

(部門別 50 音順)

<邦楽>		
<b>菊良 ゆう子</b> 箏・三絃・尺八による邦楽演奏会 グループ鳳 邦楽演奏会 都山流尺八演奏会	伊丹アイフォニックホール 夙川公民館(西宮市) あましんアルカイックホール・オクト(尼崎市)	5月9日 6月21日 9月22日
<絵画>		
<b>勝部 雅子</b> 第75回春の院展 第67回兵庫県日本画家連盟展(審査) 第75回春の院展(巡回展) 第75回春の院展(巡回展) 再興第105回院展	日本橋三越本店(東京都中央区) 兵庫県民会館(神戸市) 京都タカシマヤ(京都市) 阪急うめだ本店(大阪市北区) 東京都美術館(東京都台東区)	3月25日～ 4月6日 5月11日 6月3日～ 6月8日 6月10日～ 6月15日 9月1日～ 9月13日
<書>		
<b>畑間 青露</b> 第1回雙青會展 関踏青・畑間青露	ギャラリー翰林堂(大阪市中央区)	4月24日～ 4月26日

[編集・発行] 伊丹市芸術家協会  
 [事務局] 伊丹市文化振興課  
 〒664-8503 伊丹市千僧一丁目一番地  
 TEL 072-784-8043 FAX 072-784-8048

訃報

文学部門の伊丹三樹彦さんが令和元年九月に、彫刻部門の黒野敬三さんが令和元年十二月にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。